

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：Ⅱ 計画・設計・施工の最適化 【1】 計画・設計の見直し 施策9】

既設構造物再利用、ケーソン構造及び中詰材に再生資源を利用することによるコスト改善

工事名or事業名：平成20-21年度 新居7号突堤築造工事

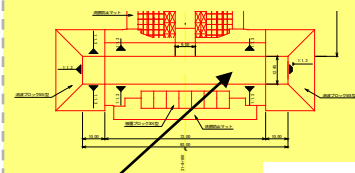
概要：既設ブロック再利用、ケーソン構造の見直し及び中詰材に再生資源を活用

効果

- ・ 設計段階で再生資源材を活用し、構造を見直す事により消波ブロックを減じる。又、既設突堤のブロックを流用する事を実現
- ・ 工事費を621百万から385百万に改善
(改善額 236百万円 改善率38%)

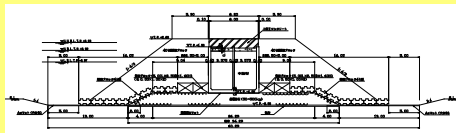
従来

消波工被覆直立ケーソンタイプ (堤体幅 8.20m)



消波工被覆直立ケーソン

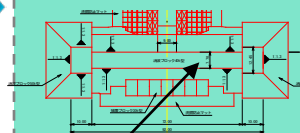
新規製作設置



改善

上部斜面ケーソンタイプ (堤体幅 7.50m)

上部斜面堤+中詰材(銅スラグ)により消波工が不要となりコスト減。既設消波を流用する事によるコスト減。



既設消波流用

上部斜面ケーソン

